
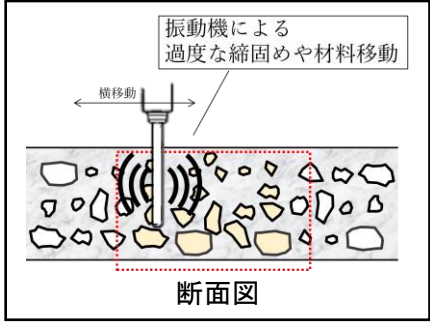
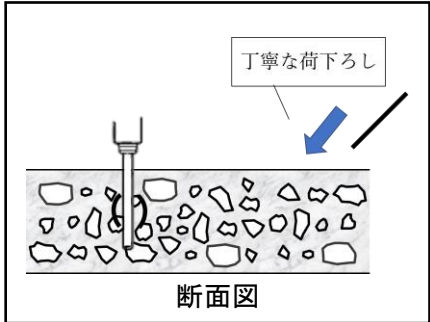
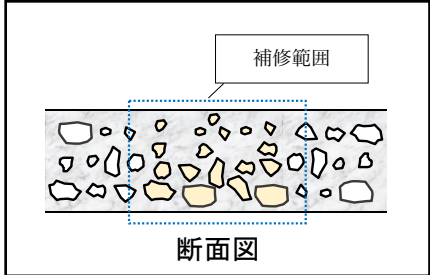


発生箇所	⑤コンクリート版内部
分類	材料・施工
参考箇所	4-8-2 コンクリートの製造と運搬
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場でコアの採取を行った結果、断面において写真のように材料分離が発生していた。 	 <p>材料分離断面の事例</p>
<p>●原因</p> <ul style="list-style-type: none"> 荷下ろし時に材料分離が生じた。 パイプレタによる過度な締固めや材料の移動などにより施工中に材料分離した。 	 <p>振動機による過度な締固めや材料移動</p> <p>横移動</p> <p>断面図</p>
<p>●発生防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> スランプの大きいコンクリートを使用する場合は過度な締固めにならないよう注意する。 荷下ろしは、高さをできるだけ低くし連続して丁寧に行う。 材料の無駄な移動を少なくする。 パイプレタ通過後、仕上げ前の段階において表面のモルタル厚さを確認する。材料分離が確認された場合は、スコップなどで混合するか廃棄する。 	 <p>丁寧な荷下ろし</p> <p>断面図</p>
<p>●発生した場合の対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> 路面に生じたひび割れなどの不具合に応じて適宜対応する。 	 <p>補修範囲</p> <p>断面図</p>